

## 通学路の安全対策について

山本 一恵 議員

**質問** 今、求められている対応は総合的通学路の安全対策です。本村においても、緊急合同総点検が実施されましたが、その総点検の結果と犯罪危険箇所対策の進捗状況、安全マップの作成、また学校支援地域本部の立ち上げの進捗状況について伺います。

**答弁（教育次長）** 通学路の合同点検については、8月に稲敷警察署、竜ヶ崎工事事務所、役場都市建設課、生活環境課、教育委員会、村内各小中学校の先生方とで行いました。各小中学校から抽出した危険箇所を点検し、関係機関と対応策を検討しました。早急に対応できるところは、既の実施している箇所もあります。

犯罪危険箇所の対策についても、関係機関や地権者等と調整して進めていきたいと思っております。通学路の安全マップについては、各小中学校で作成しております。見守り体制については、社会福祉協議会のボランティア団体再組織化と併せて、学校支援地域本部も早い時期に立ち上げていきたいと考えております。

**答弁（教育長）** 学校支援地域本部の組織づくりは教育の将来に重要な施策の一つと認識しております。これは安全、防災、授業、学校生活、家庭等の支援で、その中の一つとして、通学路の問題も入っています。実現の方向に向けて進めていきたいと考えております。

## 公共交通の

### 充実について

**質問** 村内唯一の交通機関として、デマンド乗り合いタクシーが平成20年に運行されて5年目に入り、見直しの時期にきています。地域の活性化対策や、まちづくりを考える中で、公共交通機関の整備が重要です。そこで利用者に対しての利便性、住民のニーズにこたえるために、本村に合った公共交通体系をどのように考えているか伺います。また「美浦村地域公共交通会議」に利用者をメンバーに入れる考えはあるか伺います。

**答弁（保健福祉部長）** 平成20年度の登録者は251人。平成23年度は509人。約2倍にふえています。年齢別では70代から80代が多く、60代と続いています。利用状況は一日平均延べ24人です。行き先は病院等が

多く、スーパー、公共施設、金融機関などです。ことしで5年目を迎え、内容の検証、総合的に見直す時期となり、9月にアンケートを実施。その結果を「美浦村地域公共交通会議」で検討してまいります。

**答弁（村長）** デマンド乗り合いタクシーは、公共交通ということ、当初は村内のみの運行でしたが、阿見医大行きの運行を実施しました。時間も30分早め8時30分からになりました。ただ利用時間が朝に集中するため、お断りしている方もいるようです。

今後「美浦村地域公共交通会議」のメンバーに利用者も加えて、アンケート、利用者の意見も取り入れ、増車、相互乗り入れ等、より便利な公共交通にするため、協議をしていきます。

